



# ジュゴン Vol.122

## ちゃんぷるニュース

**SDCC 2022. 5. 24**  
Save the Dugong Campaign Center

## CONTENTS

- 2/3 情勢・玉城知事復帰50年の提言
- 国際担当からの報告
- 4/5 政府交渉、SDCC 総会
- 第1回オンラインセミナー報告
- 6/7 交流広場、本の紹介
- コラム-9条とマガタマ
- わんさか通信★ジュゴンのわ



辺野古の海でカヌーに乗り抗議行動している友人から、辺戸岬の復帰記念碑の全文が届いた。私の母や地域の人達も、北緯27度線の洋上での復帰行動に参加していたのを思い出す。

全文掲載したいが、長文なので後半の一部のみ。

「復帰は実現した。しかし県民の平和の願いは叶えられず、日米国家権力の恣意のまま軍事強化に逆用された。しかるが故にこの碑は、喜びを表明するためにあるのではなく、まして勝利を記念するためにあるのでもない。闘いを振り返り、大衆を信じ合い、自らの力を確かめ合い、決意を新たにしようためにこそあり、人類が永遠に生存し、生きとし生けるものが自然の摂理のもとに生きながらえるために警鐘を鳴らさんとしてある。」

## 沖縄復帰50年、「希望の海」で世界に繋がろう！

当時の屋良県知事は県民に文書を出し、その中で、「日本国憲法の保護のもとでの生活が営めるようになります」と。しかし、自治も権利も神話のまま50年が経過したとしか思えない。

県民の圧倒的な反対の意思表示にも係わらず、強行されている辺野古新基地建設。憲法が通用せず日米地位協定下に置かれている事態は、いまだに沖縄は差別のもとで苦難を強いられている。

県民投票の結果さえ一顧だにしない日本政府に、元県民投票実行委員会の元山仁士郎さんが官邸前や防衛省前、国土交通省や埋め立て業者の大成建設前などで「ハンガーストライキ」をしている。50年経っても若者が命を張って抗議するしかないとは。

沖縄の自己決定権をないがしろにして、辺野古では連日工事が強行されている。生物多様性に優れて世界が認めた「希望の海（ホープスポット）」で、工事により多くの生き物の命が絶たれている現実。4月には、二度も、アオウミガメの死骸が見つかった。

命への畏敬の念も無い無謀なやり方を黙認してはいけない。復帰50年を節目として、これからは、「希望の海」が、沖縄の未来を平和で明るい豊かなものにできるよう世界の人々と繋がっていき。海が繋がっているように！  
(首都圏 宮城韶子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)

基地建設断念を求めて官邸前でハンガーストライキを行う元山さん（本面）。



4月22日政府交渉（4面）。

## 玉城県知事が復帰50年の提言 ～屋良建議書をふまえ



5月15日に沖縄の本土復帰50年式典（政府・県共催）が東京、沖縄で同時に開催される。松野官房長官は式典の意義を「沖縄復帰の歴史的意義を思い起こし、沖縄の歴史を振り返るとともに、沖縄の一層の発展を祈念する」としています。式典に向けた国会決議では、与党が野党提案の「日米地位協定の見直し」に反対。衆議院では削除（共産党は反対）しましたが、参議院では採択できませんでした。未だに日本国憲法の上に日米地位協定を置いているから、95年少女暴行事件、96年普天間返還合意、2004年冲国大ヘリ墜落事件など基本的人権問題が解決されないのです。

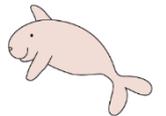
玉城デニー沖縄県知事は10日岸田首相に、辺野古新基地建設断念や、日米地位協定の抜本的改定を求める建議書を提出しました。71年11月、屋良主席（当時）が沖縄返還協定国会承認の際、政府に提出した「復帰措置に関する建議書」をふまえたものです。「屋良建議書」は「沖縄の自己決定権」を柱に「基地のない平和な島」「平和憲法の下での基本的人権の保障」「地方自治の確立」「県民本位の経済開発」を政府に要求しています。しかし、「沖縄返還協定」の国会承認では「核抜き本土なみ」と「自衛隊派遣」をめぐる与野党が対立、沖縄選出議員の発言もなく強行採決され、屋良建議書は反映されませんでした。その後、沖縄県民の粘り強い闘いが、全国知事会

の「日米地位協定の見直し」提言（2018年）や、「国の介入の見直し」（地方分権改革の徹底）提言（2021年）へと実を結んできています。朝日新聞の世論調査（5月3日）では「日米地位協定の改定について、政府はアメリカに求めるべき91%」。共同通信の世論調査（4月23日）でも「普天間飛行場の辺野古移設について政府の姿勢を支持しない県民は67%、全国は64%」と共感が広がっています。

日米両政府はロシアのウクライナ侵略を利用し、「台湾有事」を口実に「敵基地攻撃」「軍事費倍増」など「力には力の政治」を進めています。しかし、国民世論は「安全保障を考える上で、どちらが重要と思えますか 軍事的な面 19% 外交や経済などの非軍事的な面 73%」、「専守防衛を維持すべきだ 68%」です（朝日新聞）。沖縄県民の叫び「ノーモア沖縄戦」はすべての市民に通じるものです。沖縄戦を語り継ぐ「月桃」歌碑建立の除幕式は6月22日に行われます。設計変更不承認の闘いの中で、「月桃」の歌を広げましょう。



## 「安全保障」より「基本的人権」～オアフ島市民の勝利



今年3月7日、米国防長官はハワイ州オアフ島レッドヒルにある老朽化した海軍の地下燃料貯蔵施設閉鎖を発表。5月31日までに、燃料貯蔵施設の30m下にある地下水源を汚染した油の除去計画を策定するとしています。2014年から8年間の闘いが国防総省を揺り動かし、燃料漏れの貯蔵施設を閉鎖に追い込みました。2016年9月ホノルルで開かれたIUCN（国際自然保護連合）第6回世界自然保護会議で私たちはこの闘いを知り、「米軍は太平洋を壊し世界を壊す」「ジュゴンの海に基地はいらない」と交流・連帯しました。

国防総省は「国家安全保障を維持するため、太平洋艦隊の船、戦闘機の燃料供給施設が必要」と一貫して閉鎖に反対。しかし、昨年11月下旬、パールハーバー地域（9万3千人）の水道水源が汚染され、米軍人家族が体調不良を訴え、一気に闘いが広がりました。粘り強く闘いを続けてきたハワイ・シエラクラブや先住民族団体など70団体が「シャットダウン・レッドヒル連合」を結成。「土地を愛す」のメッセージをニュースレター、ドキュメンタリー映画、

抗議行動などで広げました。12月6日、イゲ州知事は「公衆の健康と安全無くして安全保障はない」と、燃料タンクの利用停止と抜き取りを命令。2月17日連邦議会上院は超党派で燃料抜き取り予算1億ドルを可決、住民を支持しました。レッドヒル連合は「コミュニティから組織化された持続的な圧力の成果だ」と振り返っています。国の安全より人の命です。  
(事務局 蛭川義章)



2016年9月 第6回世界自然保護会議（ホノルル）

# 辺野古・大浦湾とやんばるの森を守る取り組み

## 国際担当からの報告

### 辺野古・大浦湾を守る取り組み

前回の報告から現在（5月13日）までの間の、辺野古新基地建設を止め、辺野古・大浦湾を守るためにSDCCが行った国際的取り組みやその成果は以下の3点である。

1点目は、玉城デニー知事による沖縄防衛局の設計変更申請に対しての「不承認」の情報を沖縄県ワシントン事務所のHPに早急に掲載するよう働きかけ、3月後半に同情報が掲載されたことだ。不承認から5ヶ月たってしか英語による県の公式見解が公表されなかったことは問題であり、県の姿勢や体制に対する疑念は拭えない。しかし県の公式見解を米国市民や国際社会に紹介できるようになったことは重要である。

2点目は、「オール沖縄」が主催する「なぜ設計変更不承認か」という学習会のパネルにSDCC国際担当として参加したことだ。玉城知事の不承認は、軟弱地盤の問題とその改良工事によるジュゴンへの影響が論点となっている。新基地建設によるジュゴンへの影響については多くの環境団体が指摘してきたが、SDCCはIUCNの見解を引き出し、その見解を踏まえて問題を指摘してきた。知事の「不承認通知書」でもIUCNによる南西諸島のジュゴンのCritically Endangered指定（2019年）が不承認の理由に位置付けられている。学習会では、司法を含む日本国内の制度がきちんと機能しないからこそ、国際機関との連携が重要だと主張できたと考える。

3点目は、4月にScientific Reportsに掲載された環境監視等委員会のメンバーらによるジュゴン論文への対応だ。同論文は昨年5月に同じ著者が投稿したジュゴン「絶滅論文」を大幅修正したもののだが、沖縄のジュゴンを「絶滅に近い、あるいは絶滅した、と言わざるをえない」と前回同様の主張をしている。著者の意図はよく分からないが、玉城知事の不承認がジュゴンへの影響を論拠の一つとするなか、反論を示すことは大切だといえる。よって、「絶滅」の定義や指定手続きに言及していない点、新基地建設の影響に触れていない点などを指摘した反論をScientific Reportsに提出する。なお昨年4月の「絶滅論文」に対してはIUCN海牛類専門家グループが「論文の主張は信頼する

に値しない」とした書簡を沖縄県に送付した。新たな論文に対しても同IUCN専門家グループからの対応が期待される。

以上の3点を踏まえつつ、市民社会から米国連邦議会議員や連邦機関へ書簡／報告書を作成、送付し、同時に米国環境団体との協力による新たな取り組みを模索していく。

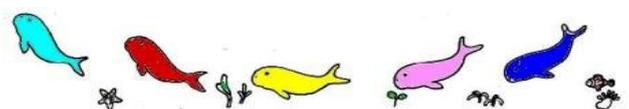
### やんばるの森を守る取り組みに

前回の報告から現在までに行なってきたやんばるの森を守る取り組みは、世界遺産登録後に始まったベルリン拠点のNGO World Heritage Watch(WHW)との連携を軸に展開している。

WHWは毎年WHW Reportを作成し、それをユネスコ世界遺産会議のサイドイベント等で議論している。今年のReportには、世界自然遺産であるやんばるの森と北部訓練場の問題も含めてもらおうと、報告文を作成し、5月初めにWHWに提出した。作成には宮城秋乃さん、河村雅美さん、花輪伸一さんが関わってくれた。（なお今年の世界遺産会議は当初ロシアで6月に開催予定であったが、ロシアのウクライナ侵攻により、場所と日程の変更を余儀なくされている。ユネスコ世界遺産会議の判断待ちである。）WHW Reportが日米政府へのロビーイングにも活用できることを期待している。

また6月5日には「高江すわりこみ15周年報告集会」に参加し、WHWとの連携を通しての世界遺産センターやIUCN、そして日本政府への働きかけの取り組みを報告する。やんばるの森を守るためには、世界遺産条約やその機関と現場をつなげる動きが必要であり、それを実行していきたい。

（国際担当 吉川秀樹）



政府交渉

# 「絶滅論文」投稿の環境監視等委員会委員は解任すべき!

4月22日、伊波洋一参議院議員の中介で防衛省、環境省交渉を行いました。

防衛省に、辺野古の全ての工事を中止、「ジュゴン絶滅論文」を英国科学雑誌に投稿した環境監視等委員3名を解任しない責任を問いました。

防衛省は、昨年5月の交渉時から、「(絶滅論文は)委員個人の論文。防衛省として関知しない」と責任逃れ。しかしIUCN(国際自然保護連合)専門家グループ(共同議長 ヘレン・マーシュ博士)から「(絶滅論文は)信頼に値しない」と批判され、英国科学雑誌も大幅書き換えを求めました。環境監視等委員会の役割は「ジュゴンなどの保護対策の実施」です。「沖縄ジュゴン絶滅」の確信をもっている学者に、なぜ保護対策を実施できるか?IUCNから批判されている3名を、環境監視等委員会にとどめれば、日本政府の環境保全政策の国際的信用を損なうと問いました。防衛省は沈黙。「沖縄ジュゴン絶滅という立場にない」ことは認めました。

環境省は「沖縄ジュゴンの絶滅には同意しない」と明言しました。

さらに、やんばるの森を「真の世界自然遺産」とするために、JEGS(日本環境管理基準)守らせ、米軍基地内の絶滅危惧種の保全を進めるべきだと要求しました。伊波洋一議員は、参議院外交防衛委員会(2016.10.20)でJEGSにもとづく自然資源管理計画について質問し、岸田文雄外務大臣(当時)は「米側にしっかりした働きかけを続けるべき課題である」と答弁した、と報告しました。  
(関西 松島洋介)



環境省に日本環境基準(JEGS)について説明する伊波洋一参議院議員



SDCC 第22回総会

# SDCCが活躍する時代が来た(海勢頭豊共同代表)

5月1日にジュゴン保護キャンペーンセンター(SDCC)第22回総会を、昨年に引き続きオンラインで開催しました。吉川秀樹国際担当から「ジュゴンとやんばるの森を守るために」と題して、「ジュゴン絶滅論文」に関するIUCNの書簡、沖縄県ワシントン事務所のホームページへの不承認情報の掲載についての働きかけなど国際的な取り組みと今後の展望が報告されました。

蜷川義章共同代表から総括方針・決算予算案が提案され、第3次署名についてオンライン署名を含め11月の政府交渉で提出すること、7月に第2回オンラインセミナーを開催すること、沖縄復帰50周年「月桃」歌碑建立運動を成功させることなどが報告されました。決算予算については、コロナ禍の中で厳しい運営が強いられており、支出を抑えていくことが報告されました。また9月に沖縄県知事選挙・名護市議会議員選挙が予定されており、重要な選挙になると決意が語られました。

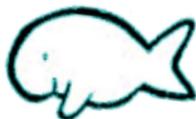
海勢頭豊共同代表からは、「SDCCが活躍する時代が来た。みんながやってきたことは正しい。これからも正しいと思うことはやっぺいこう!」と元気の出る挨拶がありました。

人事については、全員留任との提案があり、議案も含めて全会一致で承認されました。

(首都圏 三村昭彦)



SDCCの国際的とりくみをオンラインで説明する、吉川秀樹国際担当



第1回オンラインセミナー

ジュゴンの棲む海は Hope Spot「希望の海」

4月17日、安部真理子さん（日本自然保護協会）を講師にお迎えして、辺野古・大浦湾の自然、沖縄防衛局のサンゴ移植、Hope Spotについてお話を伺いました。

大浦湾は、沖縄島の中でもサンゴが良好な状態で生息している場所であること、昨夏から実施された国のサンゴ移植は、そもそも移植技術が未確立な上、工事と並行してのストレスフルな移植で、成功率が低いことがよくわかりました。

2019年、日本ではじめてHope Spot「希望の海」に認定された辺野古・大浦湾一帯。この認定を受けて、2020年日本自然保護協会は署名25925筆を提出し、沖縄県にさらなる保護策を要請しました。そして今、Hope Spotを広げるために名護市東海岸に看板設置計画が進行中です。\*カンパが呼びかけられています。日本自然保護協会のHPをご覧ください。

吉川秀樹さん（SDCC 国際担当）からは、Hope Spot 国際ネットワークと連携した保護活動の可能性についてのお話があり、そのひとつとして、アメリカのHope Spot 認定地域選出の連邦議会議員に、辺野古の現状を知らせ、働きかけるとの報告がありました。

Hope Spot 認定で、様々な可能性が広がるまさに Hope 希望だと実感したセミナーでした。今回オンラインということで、各地から参加していただきました。7月30日の第2回オンラインセミナーへのご参加もお待ちしています（詳細8面）。（関西 山根富貴子）



第1回SDCCオンラインセミナー 講師 安部真理子さん ジュゴンの棲む海は Hope Spot「希望の海」

50年目の5・15

曇天の銀座通りに「基地はいらない・戦争反対・命どう宝」のコール、歌声響き渡る！



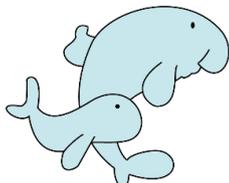
復帰運動の目指した {米軍基地撤去、平和憲法の下へ} の願いを踏みにじり、72年施政権のみの返還から50年が過ぎました。

当時は組合青年婦人部として {パテンの沖縄返還協定反対！} の看板を青山通りに面した食堂の窓に貼り、協定に反対もしました。合理化のため、運転手のワンマン手当と引換に車掌職を奪われた者として、沖縄を捨て石にしたこと、沖縄を米軍に差し出すことで独立したサンフランシスコ条約は、不条理そのものと思っていたからです。

車掌仲間は集会にもよく参加してきました。

15日、沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック主催の {「復帰」50年を問う} 銀座デモに車掌仲間と共に参加しました。日比谷公園霞門に手作りのプラカード・ヤンバルクイナ帽子姿、それぞれ趣向を凝らした姿で集結。121団体の賛同を得て、組合旗、市民団体の色とりどりの旗が林立しました。

山城博治さんもマイクを握り「式典など沖縄の現状を考えると怒り炸裂！台湾有事は米軍の軍事戦略が作りだしたものだ。プロパガンダに騙されてはならない」と、訴え、「沖縄今こそ立ち上がろう」を歌いながらのデモの出発となりました。右翼宣伝車の妨害も無く、数人の汚い言葉のスピーカーの音をかき消して、高らかに誇り高くコールと歌を銀座に響かせました。ウチナー、イクサバヤ ナランドウ！歩道から手を振っての応援もありました。（兼杉美枝子）



# 交流広場

被爆二世の守屋さんは、85年にドイツに渡り、2012年に父親の病気を機に帰国して介護し、現在は障がい者施設で働きながら反核・反原発、フードバンクなど、様々な活動をしています。そして、金曜日には、官邸前で辺野古新基地建設阻止のスタンディングに参加してギターを弾き、抗議活動しています。

## 官邸前スタンディングの紹介

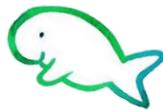
毎週金曜日、首相官邸前での辺野古埋め立て抗議スタンディングに参加して、もうじき三年半になります。通称「アダンの会」は、会則も規約もない自発的な集まりですが、雨で

も風でも猛暑でも、コロナ禍になってからも一回でも多く続けようと、平和と人権を守る歌を歌ってきました。手を振ってくれる人や飛び入りもあり、時には道路の向こうに立つ警察官の爪先が、リズムに合わせて動いていることもあります。



官邸前で歌う守屋さん

雨の日も風の日は...  
あしがりのジュゴンちゃん

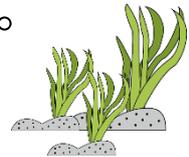


私が幼少期を過ごした広島には、まだ「原爆スラム」と呼ばれた地区があり、顔や手足にひどいケロイドのある人達が行商や土木工事をしていました。親から、祖父母から「戦争は絶対にしてはいけない」と教わって育ちました。

渡独してからは、人種差別や異文化への無理解に対し、震えるほどの怒りを感じたことも何度もありました。自分は誰も差別しない人間になりたいと思いました。

東京育ちの私には、沖縄の人々の苦しみや怒りを完全に理解することはできないかもしれません。それでも、より多く知りたい、少しでも理解したいと思います。世界のどこでも、互いを尊重することが平和を築く最善の方法だと思うからです。

日本から基地をなくし、憲法九条を実現するため、これからも人の心をつなぐ歌をうたい続けます。機会があれば、どうぞご参加ください。  
(東京都在住 守屋真美)



## 本の紹介



## 「なっちゃんの花園」

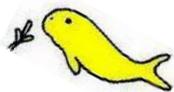
寮美千子著 (出版:西日本出版社)

コロナ禍で時間に余裕ができ、いつもと違う道を散歩して偶然見つけたなっちゃんの花園。そこから著者となっちゃんの交流が始まる。なっちゃん81歳。「うち在日二世やねん」「父さんはね、徴用工で強制連行されたんやね」と波瀾万丈の人生を語り出す。石を投げられ小学校に通えなくなり、54歳で夜間中学に通うまで読み書きができなかった。結婚、子育て、仕事、さまざまな苦勞をユーモアたっぷりに語る。「悲しいわ。ほんま、あの差別の心ってなんなんやろな…」となっちゃんはずぶやく。何なのだろう。今も日常に差別はひそんでいる。

夜間中学で初めて書いた作文に「いまの日本には世界から人が来ています。日本の人も世界に出ています。そんな人がみんな差別を受けたら悲しいことです。いまからでもおそくないと思います。差別のない、あたたかい目で見てく

れる世の中になるようお願い、、、」とある。ずっと日本に突き付けられている問題だ。歴史を学び自分のルーツを知り、父を思う。貧乏暮らしの中で酒浸りになった父は、どんな思いだったのだろうか。

日韓関係の改善どころか、日本政府は、今年の2月「佐渡金山」を強制労働という負の歴史を誤魔化して、世界文化遺産に登録申請した。なっちゃんはどう思うだろう、心が痛い。「ゴミ捨て禁止、通る人お願いします。犬の排便と心はすてないでね」と看板が家の前に立ててある。日本が心を捨ててしまった国にならないようにと願う。差別を考える重い内容だけど、精一杯生きてきて「いまが一番幸せ」というなっちゃん明るさとたくましさで元気をもらえる本です。  
(関西 池側恵美子)



# 9条とマガタマ - ~こらむ・コラム~



憲法9条の「9」はマガタマに似ている。非戦を誓う憲法を9条としたのに偶然とは思えない意図を感じるがどうか。

このほどマッカーサーの証言で、9条を入れたのは幣原喜十郎だったことが判明。自民党改憲勢力の言う「9条は米国の押しつけた」との言説は、通用しないことになった。

では、幣原が9条を仕組んだ理由はなんだったのか。天皇は神の子孫で現人神であるとし、国民を天皇の赤子として天皇のために命を捧げるよう教育し、国家総動員で未曾有の犠牲を国民に強いた、その戦前の過ちを反省した上の憲法9条制定であったと理解はするが、それだけではないように思う。もしかすると幣原は、遙か古代において戦争をしない国作りを成し遂げたヒミコと龍宮神ジュゴンの歴史復活を意図したのかもしれない。それは龍宮神を崇拜して戦を止める、つまり、神武による絶対平和主義復活こそが人類に課せられた理想であると考え、マガタマ似の9条制定がなされたのではなかったか。

そしてまた、その9条こそはかつての琉球の理想であると日本を信じ、沖縄が復帰を迎えたのが、1972年5月15日であった。しかし日本は戦前と変わらぬ皇国史観の国、神国だった。従って、沖縄は再び琉球処分の対象地域となってしまった。琉球の龍宮神信仰は明治の琉球処分の対象であったが、その迫害を耐え、沖縄戦を耐え、昭和天皇が沖縄を切り離し米国の支配下に委ねたことで、逆に島々の女たちが立ち上がり、各集落に龍宮神ジュゴン信仰を復活させていたからである。

そのような沖縄を日本に組み入れ、逆に困ったのは龍宮神を祀らない天皇制国家であった。理由は、昭和天皇自ら生きて虜囚の辱めを受け、米軍支配下で嘘の天皇制国家護持を保障してもらう条件に、日本の領土の自由使用権を米国に与える密約を後の国務長官ダレスと交わっていたからだ。その嘘の歴史に最も邪魔な存在となったのが辺野古大浦湾のジュゴンであった。SDCCはそのジュゴンと9条を護り、天皇がジュゴンを祀るよう祈り、憲法と天皇制の整合性を図るべきかもしれない。

海勢頭豊 (うみせど ゆたか : SDCC 共同代表)

## ① わんさか通信 ★ ジュゴンの①

### 嘉例 (カリー・めでたい) 乾杯

50年前の5月15日は雨だったそうだ。テッポウユリや月桃の花が見頃のこの梅雨時期、今年も予報は雨だ。

戦後 27 年間アメリカの統治下におかれていた沖縄が日本に復帰してから 50 年、という節目に乾杯しよう！とオリオンビールからデザイン缶が発売されています。



梅雨に濡れて雫をまとう月桃の蕾

復帰50周年の限定復刻デザイン



50年の農産品・サービス・生活習慣の変化を振り返る広告特集  
沖縄タイムス (5/17) より

国際通りを封鎖して乾杯する人数でギネスに挑戦という大きなイベントが計画されていましたが残念ながら中止、今月に入ってコロナ感染者がまたまた増加傾向にあり過去最高数までに増えてしまっています。

基地がなくならない事や日米安保などお祝いですまされない問題はありますが、この節目に振り返り話題にして考えられるいい機会になっていると思います。

さて、内地では盛り上がっているでしょうか？ (記念切手も全国で発売中だそうですよ) 日本みんなで考えよう、盛り上がりよう。  
(沖縄 小平裕美)

# INFORMATION

## <首都圏・全国>

### ・ZENKO スピーキングツアー

- 5/29 東京 和田香穂里さん 14:30～  
北区新町コミュニティアリーナ 第2ホール  
5/31 神奈川 藤井幸子さん 18:30～ 水晶院 別館2階

### ・承認されていない辺野古工事をやめろ！6/4 新宿行動

- 6/4 11:00 アピール 12:00 デモ出発 新宿東口アルタ前  
主催:辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会

### ・講演会「ふたたび琉球列島が戦場に?!～ウクライナの 現実をどう受けとめるか？」

- 6/11 14:00～17:00 明治学院大学白金キャンパス  
講師 川端俊一さん 牛島貞満さん 水沢澄江さん  
申込先:沖縄のつどい実行委員会 okinawa.20220611@gmail.com

## 《 今後のスケジュール 》

## <関西>

### ・じゅごん茶話会 5/26 14時～ SDCC 関西事務所

### ・ZENKO スピーキングツアー

- 5/28 大津 具志堅隆松さん 14:00～大津市勤労福祉センター  
6/1 京都 楚南有香子さん 18:30～京都教育文化センター  
6/3 兵庫 宮城秋乃さん 18:30～西宮勤労会館  
6/5 大阪 山城博治さん 15:00～学働館4階メインホール

### ・2022 御殿山フェスタ

6/11 6/12 10:00～15:30

会場 御殿山生涯学習美術センター

SDCCは6/12にブース参加



## ☆ 第27回辺野古新基地反対コンサート in 名古屋 ☆

前号の交流広場に投稿して下さった北村ひとみさんから、名古屋での辺野古コンサートのお知らせが届きました。名古屋を中心に活躍するミュージシャンたちが「ここから、今こそ、一人ひとりが反対の声を挙げよう」と呼びかけるコンサートです。

- ・2022/6/5 11:00～ 栄広場(栄小公園) 観覧無料 少雨決行
- ・主催:「辺野古新基地反対コンサート in 名古屋」実行委員会
- ・問い合わせ:神戸郁夫 E-mail:kanbe@pop02.odn.ne.jp
- ・ブログ:<http://henocon.blog.fc2.com/> Facebook:『名古屋辺野古』



### 第2回オンラインセミナー

#### アキノ隊員に聞く 世界遺産やんばるの森に、今も残る米軍廃棄物

講師:アキノ隊員(宮城秋乃さん)

日時:7月30日(土) 14:00～15:30

参加費:500円

配信方法:YouTube チャット機能で質問を受け付けます

申し込み方法: info@sdcc.jp にメールでご連絡の上、7月28日(木)までに参加費500円を下記口座までお振込みください。入金確認後YouTubeの配信アドレスをお送りします。

(郵便振替)

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199



### 「月桃」歌碑が竣工します

海勢頭豊さんが作詞作曲された「月桃」の歌碑が竣工します。以下建立除幕式が行われます。

#### 『月桃』歌碑建立除幕式

- ・6月22日(水) 15:00～
- ・於:西原運動公園(中津島西原町)

お詫びと訂正 前号121号1面のニュース発行日「2021.3.29」は「2022.3.29」の誤りでした。訂正します。

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.122 2022年5月24日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号京橋ベース  
(旧野口ビル) 302 TEL/FAX 06-6353-0514

### 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084



SDCCのwebsite  
<http://www.sdcc.jp/>  
には、左記QRコードより  
アクセスできます

\*ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします\*  
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!